第 354 回研究報告会(12 月 12 日)

「イスラームにおける信仰・戒律・ビジネスの融合―ハラール食品産業とイスラーム法の結びつきから―」

桐原 翠(日本学術振興会特別研究員 PD、立命館大学)

本報告は、近年世界的に広がりを見せているハラール(食品) 産業を取り上げ、ハラール産業の実態、ハラール産業の形成と 勃興を、現代イスラーム世界の信仰・戒律・ビジネスに関連づ けて明らかにすることを目的としている。これまで、マレーシ アを筆頭に拡大を続けてきたハラール産業は、世界各地に拡大 し急成長を遂げてきた。そのため、ハラール産業への認知度は、 ここ数年で格段に向上しているものの、ハラールに関する学術 的な研究分野は未整備であると考えられる。そのことは、ハラー ル産業の誕生と拡大という現象の性質を捉えきれていないこと に起因すると言える。ハラール食品産業が、様々な観点から構 成されていることを考えると、多様な視点からの考察が重要で ある。そこで、今回は、特に、マレーシア、ドバイ、トルコの ハラール・エキスポの事例を取り上げ、信仰・戒律・ビジネス の視点から、ハラール産業の実態やその性質を考察する。

本報告は、地域研究の立場から、マレーシアのハラール産業の成り立ちを捉え、イスラームという宗教を考察し、現代イスラーム世界におけるハラール産業の今後の可能性について新たな視点を提供するものである。

なお、この研究会は本年度の第1回宗教研究会を兼ねて開催 した。

「国際会議:井筒俊彦の東洋哲学を再定置する」を開催(12月17、18日)

澤井 真

「国際会議:井筒俊彦の東洋哲学を再定置する」(International Conference Reframing the Oriental Philosophy of Toshihiko Izutsu)を、国立民族学博物館を会場に開催した。日本の各大学に所属する研究者や、カナダ、オーストラリア、そしてトルコの大学に在籍する海外研究者らが対面とオンラインで参加した。コロナ禍であることを考慮し、発表者やディスカッサント以外の参加者は原則オンライン参加となった。

会議自体は6セッション12発表に加えて、2日目午後にはアルマンド・サルバトーレ氏(カナダ・マギル大学)によるオンラインの公開講演「宗教間の世界市民主義―東洋と西洋の交わりを通して」が行われた。会議では最新の同時通訳システムが導入され、オンラインに接続すれば、参加者は日本語か英語かいずれかの言語で発表を聴講できた。

天理大学からは、山川仁「井筒俊彦『言語と呪術』における「内包的意味」のロック的・バークリ的な諸側面」、ファン・ホセ・ロペス「哲学的翻訳―オルテガの翻訳理論と井筒の言語哲学からの視座」、澤井真「イスラーム哲学から東洋哲学へ―イスラーム研究者としての井筒俊彦」(いずれも英語発表)があった。多くの発表が英語発表あるいは英語翻訳で発信されたことにより、海外研究者にも関心が高い井筒俊彦の思想を発信することができた。

なお本会議は、科学研究費「井筒俊彦の思想形成期における 東洋思想とその学問的視座」(20H01199 研究代表者:澤井真) が3年の研究期間の集大成として、国立民族学博物館グローバ ル地域研究プログラム(グローバル地中海地域研究拠点・プロ グラム総括班)、天理大学おやさと研究所、マギル大学キーナ ン宗教間研究講座との共催で実施したものである。

2022 年度おやさと研究所 特別講座「教学と現代」 「元の理」を描く

生命・ジェンダー・芸術

2022年度の特別講座「教学と現代」は、天理人間学研究室と天理ジェンダー研究室との共催により、「『元の理』を描く一生命・ジェンダー・芸術一」をテーマに開催いたします。

講師に、2022年9月に南右2棟で「元の理」を 題材にした日本画の個展「いのちのいさい」展を 開催された日本画家の村田和香氏をお招きして、 「元の理」の芸術世界について講演をいただきます。

【演題】「元の理」を描く

―生命・ジェンダー・芸術―

【講師】村田和香(日本画家、グループ「台」会員) 【コメンテータ】金子珠理(同志社大学嘱託講師) 【開催日時】2023 年 3 月 25 日(土)

14:00~16:00

【会場】天理大学研究棟第 1 会議室 *当日は、天理大学研究棟西口(自動ドア)から お入りください。

グローカル天理

発行者 井上昭洋

第24巻 第2号 (通巻278号)

編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒 632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

2023年(令和5年)2月1日発行

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

印刷 天理時報社

© Oyasato Institute for the Study of Religion Tenri University URL https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

Printed in Japan